

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」草津駅前校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別での支援やペアでの活動を通して保護者様のニーズに合わせてしっかり行えている事。	・振り返りの時間で指導員が把握した保護者のニーズを共有して次回の支援に取り組んだり、面談を行ってサポートを行う等行っていた。 ・状況に応じて個別だけでなくペア活動や小集団での活動にも取り組むことができた。	・引き続き保護者様との情報共有の時間を確保し、ニーズをとらえて支援を行っていく。支援内容を事業所内で共有して様々な視点で支援を展開できるように話し合う時間を設けるようにしていく。 ・個別支援だけでなく、状況に応じてペアや小集団での活動にも取り組んでいく。
2	・保護者様と話をする時間や支援を見て頂く時間を確保して、情報共有を密に行うことができています。	・支援の間や振り返りの時間などを使う事で保護者様と話をする時間を設け、ご不安や悩みなどを聞き、答えていける時間を確保するようにしている。	・引き続き保護者様と話す時間を設ける事と、個別だけでなく集団で話す機会も必要に応じて設定していき、広く話を展開していく機会を持てるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様への情報提供が遅れていたり、指導員間で共有がなされていない部分がある。	・指導員との連携不足もあり、誰に何の情報共有がなされているか分かっていない部分があった。 ・個別に情報共有は行っていたが、全体での共有ができておらず、認識不足になってしまう場面がある。	・こまめに情報共有を行い、必要な時期に必要な情報を提供できるように心がけていく。 ・対面で話し合うだけでなく、アプリなどを使うなどして色々な形で情報共有が行えるようにしていく。
2	・こまめな清掃など、教室環境の設定ができていない部分がある。	・時間がある時に、という掃除の設定や環境チェックの状況だったので清掃が遅れている状況が出てきた。	・時間がある時に清掃をするという状況であったため、掃除の時間を意識的に確保したり、教室環境を都度確認して危険な部分は共有するようにしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」草津駅前校

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数 23名

回収数 18名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2	1		・日によって狭い時がある。	・利用者の状況に合わせて部屋の配置や場所を考えていけるようにする。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	3	1	1	・急な都合で欠員が生じ、支援が難しい日がある。 ・職員の方がお休みされた時に代理支援して下さる方が少ない。	・他校舎からヘルプに来てもらえる環境を整えたり、会社全体で採用に取り組んで安定した状況を作っていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3	1	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16			2	・毎回のフィードバックなどや家庭や園での様子、好きなものなどをどんどん取り入れて支援をしてくれる。 ・最近通い始めたためまだ判断できない。	・ニーズを把握できるように振り返りの時間など相談できる場を設定していきけるように取り組んでいく。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			2	・毎回のフィードバックなどや家庭や園での様子、好きなものなどをどんどん取り入れて支援をしてくれる。 ・最近通い始めたためまだ判断できない。	・ニーズを把握できるように振り返りの時間など相談できる場を設定していきけるように取り組んでいく。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1		3	・最近通い始めたためまだ判断できない。	・ニーズを把握できるように振り返りの時間など相談できる場を設定していきけるように取り組んでいく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18				・今日は何をするのか、毎回楽しみにしています。	・引き続き楽しみになるような支援を継続していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	6	3	・まだこども園に通っていないので分からない。 ・時々近い年齢の子と一緒に活動させてもらえるのでありがたい。 ・保育園に来てくれる話が出ていたが実施に至っていない。	・個別の活動だけでなく、ペア活動など他の利用者様とも事業所内で聞かれる機会を今後も設定していきます。 ・園訪問の際は早急に対応できるように校舎内での共有をしっかりと行っていきます。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18				・丁寧に対応してもらった。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14		1	3		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	2	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18				・自宅の様子やこども園での様子を伝えたり、アドバイスをもらえるので助かります。	・今後も振り返りの時間を使いながら共通理解の時間を設けていく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3	1	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	5	5		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	3	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13		1	4	・避難訓練に参加させてもらい本人は楽しんでいました。	・事業所の人員だけでなく、利用者様保護者様にも体験して頂ける機会を設定していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	5	1	6	・最近通い始めたためまだ判断できない。	・共有できるもの（書面やいつでも見られる物）を用意していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	3		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		4	・直接説明してもらい分かりやすかった。	・もしもの際も共有をしっかりと行っていきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				・とても楽しそうにしている嬉しそうに通所している。	・引き続き安心感を持って通って頂けるように対応していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				・いつも笑顔で通えています。 ・嫌がることなく楽しく通わせてもらっている。	・引き続き楽しいと感じて頂ける支援を提供できるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・寄り添って支援をもらって感謝している。	・引き続き様々な面で満足感を得て頂けるように対応を続けて参ります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」草津駅前校	公表日	2025年 2月 14日
------	---------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・運動をする時に狭い事もあるが、相談しながらスペースの確保ができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・他校舎の方に来て頂いたりして対応をしている。	・校舎の状況を考えて事務室に誰かいてくれると安全だと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・使う際は見守りや声をかけるなどして注意を促している。	・玄関の階段やトイレの段差は使いにくさがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・気が付いた時や時間がある時といった不定期ではあるが掃除を行うようにしている。	・まめな清掃は必要。 ・こまめに定期的に出来ていない時もある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的な相談の場を設定するようにしていく。	・今年度は思うようにできていないので業務改善に繋がる相談の場が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・去年の意見を参考にし、避難訓練を利用者様も交えて取り組むことができたのが良かった。	・引き続き訓練を継続する事と、状況に応じて利用者様保護者様にも参加してもらおう場も用意する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・個別で相談する事は出来ていると思う。 ・業務改善に繋がる建設的な話し合いの場を設定する。	・意識して情報共有の場を設定していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
		児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	・校舎内で相談する機械や個別に相談する機会を設定していく。	・個人差があるので一人ひとりが意識していく必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・それぞれであるが、必要に応じて共有している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・指導員によって偏りがあるので一人ひとりが意識すると共に工夫していく必要がある。	・相談できる場を設定していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・全体の時間が取れない時は個々に話し合いを行えている。	・毎日ではできていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・必ずではないが、各々で共有はできている。	・振り返りの時間が持てない時もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・まだ経験はないが、取り組んでいきたい。 ・保護者の方を通して情報共有や就学後の学校訪問という形で行えている部分もある。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			・できていない場面もある。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・機会を設定できるように働きかけていく。	・地域の機関とはあまりない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者様と話す時間を設定し、事業所内でも話を共有できる場を設定していく。	・まだできていない方もおられると思う。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			・まだできていない方もおられると思う。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・今年度は指導員が主に行っていた。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			・きょうだい同士の交流の場は設けていないが、必要性や需要があれば検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			・きらりひろばという形でできている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○					